

LifeKeeper for Linux v8.2.1

テクニカルアップデートインフォメーション



1.	はじめに	3
2.	LifeKeeper for Linux v8.2.1 の新機能・機能変更	3
	● サポート OS の追加.....	3
	● サポート仮想環境の追加	3
	● Recovery Kit のサポートソフトウェアのバージョンの追加.....	3
3.	重要なバグの修正	4
	● PAM 認証の pam_tally オプションを設定した環境において発生する問題.....	4
	● LCM プロセスを強制的に停止した時、通常のハートビート応答確認によって障害の判定行わず即座に全てのコミュニケーションパスが切断したと判定する問題.....	4
4.	お問い合わせ	5
5.	免責事項	5
	5.1. 著作権	5

1. はじめに

本文書では LifeKeeper for Linux v8.2.1 での新機能や機能変更、また、重要なバグ修正に関する概要をまとめたものです。それらに関する詳細な情報につきましては、リリースノートやオンラインマニュアルをご確認いただくか、ご契約の製品サポートにお問い合わせください。

2. LifeKeeper for Linux v8.2.1 の新機能・機能変更

- サポート OS の追加
Red Hat Enterprise Linux Version 6 Update 5
Community ENTerprise Operating System (CentOS) Version 6 Update 5.
Oracle Linux Version 6 Update 5

- サポート仮想環境の追加
VMware vSphere v5.5

- Recovery Kit のサポートソフトウェアのバージョンの追加
[Oracle Recovery Kit]
Oracle 12c をサポートします。(ただし ASM 環境を除きます)

[PostgreSQL Recovery Kit]
EnterpriseDB Postgres Plus Advanced Server 9.3 をサポートします。

[MQ Recovery Kit]
WebSphere MQ 7.5 をサポートします。

3. 重要なバグの修正

SSP v8.2.1 で修正されたバグの中で重要と思われる修正についてピックアップします。その他 v8.2.1 で修正されたバグの一覧につきましては、v8.2.1 のリリースノートをご確認ください。

- PAM 認証の pam_tally オプションを設定した環境において発生する問題

この問題は以下のユーザーサイトの情報に該当する問題です。発生する問題の詳細につきましては、以下の URL をご参照ください。

[Linux]PAM 認証で pam_tally オプションを設定した環境において、LifeKeeper GUI の認証が期待する動作とならない。

<http://lk.sios.com/?p=2162>

本バージョンではこの問題を解決しました。

- LCM プロセスを強制的に停止した時、通常のハートビート応答確認によって障害の判定行わず即座に全てのコミュニケーションパスが切断したと判定する問題

通常、コミュニケーションパスの切断はハートビートの応答確認において判定されますが、LCM プロセス（コミュニケーションパスの通信を管理するプロセス）をプロセスが強制的に停止されると、ハートビートによる判定結果を待たずに即座に全てのコミュニケーションパスのステータスが DEAD となっていました。そのため、LCM プロセスが停止されてもハートビートの応答確認をもってコミュニケーションパスのステータスを判断するよう修正しました。

4. お問い合わせ

本ドキュメントの記載内容について、疑問点等がある場合は弊社サポート窓口までお問い合わせください。なお、お問い合わせの一次窓口が弊社ではない場合があります。サポート証書にてサポート窓口を確認のうえ、適切なお問い合わせ窓口にお問い合わせください。

<http://www.sios.com/products/bcp/lkdk/contact/>

5. 免責事項

- 本書に記載された情報は予告なしに変更、削除される場合があります。最新のものをご確認ください。
- 本書に記載された情報は、全て慎重に作成され、記載されていますが、本書をもって、その妥当性や正確性についていかなる種類の保証もするものではありません。
- 本書に含まれた誤りに起因して、本書の利用者に生じた損害については、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。
- 第三者による本書の記載事項の変更、削除、ホームページ及び本書等に対する不正なアクセス、その他第三者の行為により本書の利用者に応じた一切の損害について、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。
- システム障害などの原因によりメールフォームからのお問い合わせが届かず、または延着する場合がありますので、あらかじめご了承ください。お問い合わせの不着及び延着に関し、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。

5.1. 著作権

本書に記載されているコンテンツ(情報・資料・画像等種類を問わず)に関する知的財産権は、サイオステクノロジー株式会社に帰属します。その全部、一部を問わず、サイオステクノロジー株式会社の許可なく本書を複製、転用、引用、公衆への送信、販売、翻案その他の二次利用をすることはいずれも禁止されます。またコンテンツの改変、削除についても一切認められません。本書では、製品名、ロゴなど、他社が保有する商標もしくは登録商標を使用しています。